

平成 20 年度三番瀬自然環境調査（案）

平成 20 年 3 月 26 日
環境生活部自然保護課

1 水環境モニタリング調査業務要領

(1) 目的

水温、塩分、流向・流速など生物と関連の深い三番瀬の海域の物理的環境を調査し、三番瀬全体での水の流動分布や流出入等を把握することを目的とする。

(2) 調査期間

平成 20 年 5 月 22 日から平成 21 年 3 月 15 日

(3) 調査内容

水温、塩分、濁度、クロロフィル、溶存酸素、流向・流速について、別図の三番瀬海域の主要地点 3 箇所において、調査期間を通じて 10 分ごとの観測データを計測するものとする。

そのデータから、異常値などを考慮して 1 時間ごとの観測データを作成し、三番瀬の水環境を把握する。

(4) 解析・考察

調査結果と併せて、他機関が実施した潮位、天候、気温、風向・風速、雨量について、年間の変動等について取りまとめる。また、これまで実施してきた底質などの調査結果と今回の調査結果の関連についても考察を行う。

(5) 報告

調査結果の概要等について、三番瀬評価委員会に報告を行う。

(6) 主な留意事項

「(3)」の調査地点は概ねの位置であり、三番瀬評価委員会の委員と現地踏査を行い、年間を通じて観測が可能な場所の中から、調査地点を決定する。

海底にアングルを組んで、計測機器を取り付けるなどにより、海底から 50 cm 程度の位置で計測するものとする。

調査には、藻類の付着等に対応した機器を使用することとし、機器のメンテナンスとあわせて、藻類の付着等が調査結果に影響を与えないように調査を行うこととする。

なお、機器のメンテナンスについては、1 週間に一回以上の頻度（12 月から 2 月は 1 ヶ月に一回以上、11 月と 3 月については 2 週間に一回以上の頻度）で、かつ、機器への藻類の付着等が調査結果に影響を与えないように行うものとする。

2 平成20年度三番瀬深浅測量業務要領

(1) 目的

三番瀬海域の地形の現状を把握し、過去に実施された深浅測量のデータから、地形の侵食、堆積傾向を整理し、地形の変化について調査し、三番瀬の自然環境の変化を把握することを目的とする。

(2) 調査期間

平成21年1月～2月(前回調査と同時期)

(3) 業務の内容

作業計画

業務の目的・主旨を把握したうえで、既存資料の内容を確認し作業計画を作成する。

現地踏査

周辺の状況及び土地利用状況等を把握し、既存資料を基に現地踏査を行うものとする。

測量

精密音響探査機により、測線間隔50mで深浅測量を行う。また、浅い海域については、汀線測量により行う。なお、RTK-GPSを使用することにより、5cm程度以内の精度で行うものとする。

また、代表的な3測線について、2mごとに計測し、地形を把握する。

定点観測

干出域から水深1m程度の2箇所において、定点観測を行う。各地点において、20m四方の範囲を、4mごとに格子状にRTK-GPSにより標高の精密測定を行う。

定点観測点の決定については、三番瀬評価委員会の助言をもとに、県と協議して決定する。

必要に応じて、このデータを基準に、移動観測船による測量値を補正する。

深浅図の作成、整理、確認等

測線間隔50mの深浅測量と定点観測を基に深浅図を作成する。また、過去に実施された深浅測量のデータとの比較により、地形の侵食、堆積傾向を整理し、地形の変化を取りまとめる。

また、代表的な3測線については、2mピッチで詳細に地形を把握する。

報告

調査結果の概要等について、三番瀬評価委員会に報告を行う。



○ 水質連続測定候補地点

三番瀬自然環境調査年次計画

調査名	調査項目	地点数	実施年度					備考
			18	19	20	21	22	
底生生物調査	種の同定、個体数、湿重量、殻長等	60地点程度						評価委員会の評価
水質調査	水温、塩分、pH、溶存酸素、クロロフィルa	10地点程度						底生生物調査時に実施
底質調査	酸化還元電位、粒度組成、強熱減量等	60地点程度						底生生物調査時に実施
魚類着底状況調査	種の同定、個体数、湿重量、体長等	11地点						
鳥類経年調査	種の同定、個体数等	15地点						
スズガモ等 消化管内容物調査	食性							10月1日から実施予定 カワウの食性についても実施
鳥類行動別個体数調査	種の同定、個体数、出現位置、行動状況	5地点						
定点撮影		5地点						他の調査と併せて実施
深浅測量	水深	測線間隔50m						
水環境モニタリング	水温、塩分、溶存酸素、クロロフィル、 濁度、流向・流速等	3地点						
中層大型底生生物	生息孔の分布等	40地点						
藻類調査	種の同定等	40地点						
付着生物調査	種の同定、個体数、湿重量、空間分布等							
空中撮影								大潮干潮晴天時に実施
総合解析								

→ は、評価委員会による評価